

# JSAF Enoshima Olympic Week 2009

## 帆 走 指 示 書

RS:X級 49er級 470級 レーザー級 レーザーラジアル級(女子)[オリンピッククラス]  
レーザーラジアル級(男子) シーホッパー級 SR[オリンピッククラス以外のクラス]

2009年10月16日(金)~18日(日)  
神奈川県藤沢市 江の島ヨットハーバー  
共同主催団体:財団法人日本セーリング連盟  
神奈川県セーリング連盟

### 1. 規 則

- 1.1 本レガッタは、セーリング競技規則 2009~2012 に定義された「規則」を適用する。  
帆走指示書との間に矛盾がある場合は、帆走指示書を優先する。  
この項は規則 63.7 を変更している。
- 1.2 本文と英文とが矛盾する場合には、英文を優先する。

### 2. 競技者への通告

競技者への通告は、クラブハウス2階のレガッタ・オフィス内に設置された公式掲示板に掲示する。

### 3. 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、それが発効する当日の最初の予告信号予定時刻の60分前までに掲示する。ただし、レース日程の変更は、それが発効する前日の18:00までに掲示する。

### 4. 陸上で発する信号

- 4.1 陸上で発する信号は、クラブハウス2階テラス前に設置されたフラッグ・ポールに掲揚する。
- 4.2 音響1声と共に掲揚されるD旗は「予告信号はD旗掲揚後40分以降に発する。〔艇はこの信号が発せられるまで、ハーバーを離れてはならない〕」ことを意味する。

### 5. レースの日程

#### 5.1 49er級 470級

10月16日(金)	8:00~	登録受付、計測
	9:30~	スキッパーズ・ミーティング
	10:55	最初のレースの予告信号予定時刻
10月17日(土)	9:55	当日の最初のレースの予告信号予定時刻
10月18日(日)	9:55	当日の最初のレースの予告信号予定時刻

## 5.2 49er級 470級以外のクラス

10月17日(土) 8:00 ~  
8:45 ~  
10:05

登録受付、計測  
スキッパーズ・ミーティング  
最初のレースの予告信号予定時刻

10月18日(日) 10:05

当日の最初のレースの予告信号予定時

## 5.3 全クラス

10月18日(日) 16:00

表彰・閉会式

## 5.4 各級の同時スタート

5.4.1 各級男女同時スタートとする。

## 5.5 レースのスタートの順番

RS:X級、49er級、470級、レーザー級、レーザーラジアル級(男子・女子)/シーホッパー級SR(男子・女子)の順に行く。但し、風速及びフリートの状況により順番を変更する場合もある。

5.6 同じ日に引き続きレースが行われる場合は、フィニッシュ・ライン付近のレース・コミッティー・ボートにG旗を掲揚する。

5.7 同じ日に引き続きレースが行われる級の予告信号は、実行可能となれば直ぐに発せられる。次のレースまたは後に続くレースがまもなく始まることを艇に注意を喚起するために、予告信号が発せられる最低5分以前に音響1声と共にF旗を掲揚する。F旗の降下1分後に予告信号が発せられる。

## 5.8 レース数

49er級、470級は9レースを予定しており、それ以外のクラスは6レースを予定し、1日最大で4レース行われる場合がある。  
但し、RS:X級は、引き続きレースを行う場合は2レースまでとする。

5.9 10月18日(日)は 13:55 を超えて予告信号を発しない。

## 6. クラス旗

クラス旗は、以下の通りとする。

クラス(級)	旗
RS:X級	RS:X旗
49er級	49er旗
470級	470旗
レーザー級	レーザー旗
レーザーラジアル級(男子・女子)	レーザーラジアル旗
シーホッパーSR級(男子・女子)	シーホッパーSR旗

## 7. レース・エリア

別図1の通りエリアAである。

## 8. コース

8.1 別図2にコース旗とレグ間のおおよその角度、通過するマークの順序及びそれぞれのマークを通過する側を含むコースを示す。

8.2 予告信号の前あるいは同時に、レース・コミッティー・シグナルボートに帆走すべきコースのコ

ース旗と最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。

## 9. マーク

- 9.1 マーク1、2、3及び4は、オレンジ色の円筒形のブイとする。
- 9.2 規則 33「コースの次のレグの変更」に規定する新しいマークは、元のマークと同じ色、形で水平に黒い帯がついたものとする。ただし、その後の変更でさらにマークを変更する場合は、そのマークは元のマークで置き換えることがある。
- 9.3 スタートマークは、スターボードの端にあるJSAF旗を掲揚しているレース・コミッティー・シグナルポートとポートの端にあるオレンジ旗を掲げたレースコミッティーポートである。
- 9.4 フィニッシュ・マークは青色旗を掲揚したレース・コミッティーポートである。  
フィニッシュ・アウトサイド・マークは黄色の細い円筒形ブイである。

## 10. スタート

- 10.1 スタートは、規則 26 を用いて、予告信号をスタート信号の 5 分前として、スタートさせる。
- 10.2 スタート・ラインは、スタート・マーク上でオレンジ色旗を掲揚しているポールの間とする。
- 10.3 他のレースのスタート手順の間、予告信号が発せられていない艇は、スタート・エリアを回避しなければならない。
- 10.4 スタート信号後 4 分より後にスタートする艇は、審問なしに DNS (Did Not Start) と記録される。この項は規則 A4 を変更している。
- 10.5 ゼネラル・リコールの際、競技艇に知らせるためレース・コミッティー・シグナルポート以外のレース・コミッティー・ポートにも第一代表旗を掲げる場合がある。ただし、その場合は音響信号は発せられない。また、当該レース・コミッティー・ポートが行う第一代表旗の降下については、競技規則レース信号「予告信号は降下の 1 分後に発する。」の意味は持たないものとする。

## 11. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、フィニッシュ・マーク上でオレンジ色旗を掲揚しているポールとフィニッシュ・アウトサイド・マークの間とする。

## 12. ペナルティー方式

- 12.1 RS:X 級を除く各級は、付則 P を適用する。
- 12.2 49er 級では、規則 44.1 及び 44.2 を 1 回のタックと 1 回のジャイブを含む 1 回転が求められると変更する。
- 12.3 規則 44.1 及び 44.2 に基づき回転ペナルティーを履行した艇、またはリタイアした艇は、抗議締切時間内にレガッタ・オフィスにおいて報告書を完成させなければならない。報告書フォームは、レガッタ・オフィスで入手できる。

## 13. タイム・リミットと目標時間

- 13.1 先頭艇の最初のマーク1までのタイム・リミット及びフィニッシュまでの目標時間(分)は下記の通りとする。

級	最初のマーク1のタイム・リミット	目標時間
RS:X、49er	20分	30分
その他の級	30分	50分

マーク1のタイム・リミット内に1艇もマーク1を通過しなかった場合、レースを中止する。目標時間を大幅に超過しそうな場合あるいは超過した場合、レースを中止することができる。目標時間通りとならなくても、救済要求の根拠とはならない。これは規則 62.1(a)を変更している。

- 13.2 男女別(但し470級を除く)に各級の先頭艇がコースを帆走してフィニッシュ後、15分以内にフィニッシュしない艇は、審問なしに DNF(Did Not Finish)と記録される。この項は規則 35とA4.1を変更している。

(先頭艇:レース委員会によりスタート時に OCS、BFD、DNSと記録された艇以外の艇で、規則 28.1に基づきコースを帆走して、定義通りにフィニッシュした最初の艇とする)

#### 14. コースの短縮

レース委員会は、規則 32.1に規定された理由の他、レースが所要目標時間を大幅に超過しそうな場合は、コースを短縮することができる。

#### 15. 抗議と救済の要求

- 15.1 抗議書は、レガッタ・オフィスで入手できる。抗議書および救済要求は、抗議締切時刻内に提出されなければならない。
- 15.2 各級の抗議締切時刻は、その日の当該級の最終レース終了後60分とする。これらの時刻は公式掲示板に掲示される。同じ抗議締切時刻をレース委員会とプロテスト委員会によるすべての抗議および救済の要求に適用する。この項は規則 61.3と62.2を変更している。
- 15.3 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に通告するために、抗議締切時刻後20分以内に通告書を掲示する。審問はレガッタ・オフィスに隣接する部屋で行われる。
- 15.4 レース委員会またはプロテスト委員会による抗議を規則 61.1(b)に基づき艇に通告するために、抗議の公示を掲示する。
- 15.5 指示 12.3に基づき規則 44.1または44.2違反を認められたか、またはプロテスト委員会により規則 42違反により失格とされた艇のリストは、抗議締切時刻までに掲示される。
- 15.6 指示 10.3、12.3、17.2、19、21、22および23の違反は、艇による抗議あるいは救済要求の根拠とはならない。この項は規則 60.1(a)を変更している。これらの違反に対するペナルティーはプロテスト委員会の裁量により決定する。
- 15.7 大会最終日に審問の再開を要求する場合、次の時間内に提出されなければならない。  
a) 前日に行われた判決に関する審問の再開の要求は、翌日の抗議締切時刻内。  
b) 最終日の判決に関する審問の再開の要求は、判決後30分以内とする。  
この項は規則 66を変更している。
- 15.8 抗議しようとする艇は、フィニッシュ又はリタイア後、直ちにフィニッシュ・マークに位置するレース・コミッティー・ボートのレース委員にその旨を告げなければならない。なお、フィニッシュ・マークに位置するレース・コミッティー・ボートに告げることが困難なリタイア艇は、近くのレース・コミッティー・ボートに告げること。

#### 16. 得点

- 16.1 大会が成立するためには、オリンピッククラスは3レースを、オリンピッククラス外は1レースを完了しなければならない。
- 16.2 a) 4レース以下しか完了しなかった場合、艇のシリーズの得点は、レース得点の合計とする。

- b) 5レース以上完了した場合、艇のシリーズの得点は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
- 16.3 指示 15.6 に基づいて課せられたペナルティーの得点記録の略語は、DPI (Discretionary Penalty Imposed) とする。
- 16.4 指示 17.1 に違反した艇は、PTP (Penalty of Three Points) と記録され、ペナルティーが審問なしに課せられる。この申告違反によるペナルティーの合計得点は最終得点に加算される。同一日に出艇申告・帰着申告の両方をしなかった場合でも違反は1回分としてみなされる。この項は規則 63.1 と規則 A5 を変更している。

## 17. 安全規定

- 17.1 出艇・帰着申告 (Check-in/Check-out)  
各艇のクルーは毎回ハーバーを離れる前に、レガッタ・オフィスの出艇申告書 (Check-in form) にサインしなければならない。また、毎回ハーバーに戻ってきた後に速やかに帰着申告書 (Check-out form) にサインしなければならない。その日の最終レース終了後の申告は、遅くとも抗議締切時間内に完了しなければならない。
- 17.2 ペナルティー以外の理由でレースからリタイアした艇は、帰着後できるだけ早く、レガッタ・オフィスにおいてリタイア報告を完成させなければならない。報告書フォームは、レガッタ・オフィスで入手できる。なお、実行可能であれば、レース・エリアを離れる前にレース委員会へ通知しなければならない。
- 17.3 艇の乗員は、海上にいる間は適切なライフ・ジャケットを着用していなければならない。ウェット・スーツやドライ・スーツは、適切な個人用浮揚用具ではない。
- 17.4 レース・コミッティー・ポート、プロテスト・コミッティー・ポート、指示 21.4 の場合のサポート及びコーチ・ポートは、危険な状態である艇を強制的に救助する。救助されたことによる艇からの救済の要求は認められない。

## 18. 乗員の交替と装備の交換

- 18.1 艇長の交替は許可されない。クルーの交替はレース委員会の書面による事前承認なしでは許可されない。
- 18.2 損傷または紛失した装備の交換は、レガッタ・オフィスにある申請書に記入の上、レース委員会に提出し許可を得なければならない。
- 18.3 損傷または紛失した装備を海上で交換する場合、最初の妥当な機会にレース委員会に告げなければならない。その艇は帰着後、実行可能な限り直ぐに指示 21.2 にある申請書に記入し、レース委員会に提出しなければならない。
- 18.4 スペア・ギアはバッグに入れてセールナンバーを明記し、各日、最初の予告信号予定時刻の90分前までにレガッタ・オフィスに持参して申請すればレースコミッティー・ポートに搭載する。スペア・ギアはレース中以外の時に受け取ることができる。スペア・ギアは各日、抗議締切時刻までにレガッタ・オフィスに取りに来ること。預かったスペア・ギアが紛失した、または損傷を受けたとしても主催団体もレース委員会も責任は負わない。

## 19. 装備と計測のチェック

- 19.1 艇または装備は、クラスルール、レース公示、帆走指示書に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。海上では艇はレース委員会計測員により、検査のために直ちに指定したエリアに向かうことを指示されることがある。
- 19.2 主催団体から艇をチャーターした参加者は、チャーターポート・レギュレーションにサインし、

これに従うものとする。

## 20. 運営艇

運営艇の標識は次のとおりとする。

レース・コミッティー・ボート



(但し、シグナル・ボートには標識としてJSAF旗を掲揚する)

プロテスト・コミッティー・ボート

白地に黒字で JURY の旗

## 21. 支援艇

- 21.1 サポート・ボート、コーチ・ボートは、各日の最初の予告信号予定時刻の60分前までにレガッタ・オフィスで登録しなければならない。
- 21.2 サポート・ボート、コーチ・ボートは、指示 19.4 に基づくレース委員会の要請がない限り、最初にスタートするクラスの準備信号の時刻からすべての艇がフィニッシュまたはリタイアするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発するまで、艇がレースをしているエリアの外側にいなければならない。
- 21.3 指示 21.1、21.2 に従わなかった場合、違反した者に関連するすべての艇に対しペナルティーが課せられることがある。
- 21.4 レース・コミッティー・シグナルボートまたはレース・コミッティー・ボートに赤十字旗が掲揚された場合、「サポート及びコーチ・ボートは、レースをしているエリアを含む全エリアにおいて、危険な状態にある艇を可能な限り速やかに救助しなければならない」ことを意味する。
- 21.5 大会期間中に競技艇を支援する艇及び者が、規則 69 に違反した場合は、関連するすべての艇に対し、ペナルティーが課せられる。

## 22. ゴミの処理

艇は、ゴミを水中に捨ててはならない。ゴミは支援艇あるいはレース・コミッティー・ボートに渡してもよい。

## 23. 無線通信

緊急の場合を除き、レース中の艇は、無線送信も、すべての艇が利用できない無線通信の受信もしてはならない。この制限は、携帯電話にも適用する。

## 24. 賞

### 24.1 オリンピッククラス

RS:X級男子	1位～3位	盾
RS:X級女子	1位～3位	盾
49er男子	1位～3位	盾
470級総合	1位～3位	盾
470級女子	1位～3位	盾
レーザー級男子	1位～3位	盾

レーザーラジアル級女子 1位～3位 盾

参加数10艇以下の級については、1位のみを賞の対象とする。

#### 24.2 オリンピッククラス外のクラス

レーザーラジアル級男子	1位～3位	盾
シーホッパー級 SR 男子	1位～3位	盾
シーホッパー級 SR 女子	1位～3位	盾

参加数10艇以下の級については、1位のみを賞の対象とする。

#### 25. 責任の否認

競技者は、自分自身の責任で大会に参加する。規則 4「レースをすることの決定」参照のこと。主催団体は、大会前、大会期間中または大会後に大会に起因して生じた物理的損害、身体傷害あるいは死亡に関し、いかなる責任を負うものではない。

#### 26. 保険

各参加艇は自己及び第三者への賠償をできる有効な保険に加入していなければならない。